

東京国立 博物館 ニュース



2018年度特別展 Information

「名作誕生——つながる日本美術」

「縄文——1万年の美の鼓動」ほか…… 2

「博物館でお花見を」…… 4

親と子のギャラリー「サルのひろば」…… 5

2018年度の総合文化展…… 5

作品が語る、トーハク近代の歩み…… 6

総合文化展 Pick up!

（本館／東洋館／平成館／法隆寺宝物館／黒田記念館）…… 7～11

保存と修理情報 ④…… 9／みどりのライオン（教育普及事業）…… 12～13

トーハクくんのなるほトーハク…… 13

イベント&インフォメーション…… 14～15

2018年4・5月の展示・催し物…… 16



3ページに
掲載してるほ!



今号の
名品
「摩耶夫人および天人像」



特別展 「縄文—1万年の美の鼓動」

時期・地域を超えて縄文時代の優品が集結！

この夏、縄文時代の美をテーマにした特別展を開催します。誰もが知っている火焔型土器やおなじみの遮光器土偶をはじめ、北は北海道から南は沖縄まで縄文時代を代表する優品がトータルに集合。当時の人びとが日々の暮らしのなかで工夫を重ねて作り出した土器や石器、神秘的な魅力にあふれる土偶や装身具などをぜひご覧ください。また、7月31日(火)からは縄文時代の国宝6件すべてが、初めて勢ぞろいします。(品川欣也)

7月3日(火)
▼
9月2日(日)
平成館
特別展示室



●火焔型土器
新潟県十日町市
笹山遺跡出土
縄文時代(中期)・
前3000～前2000年
新潟・十日町市蔵(十日町市博物館保管)
写真:小川忠博
煮炊きの道具であることを忘れさせる、
縄文の美を代表する土器です

関連イベント 事前申込制

記念講演会

「縄文の美を楽しむ」

日時:7月28日(土) 13:30～15:00(13:00開場)

講師:品川欣也(考古室主任研究員)

会場:平成館大講堂

定員:380名

(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)

聴講料:無料

(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に、(1)参加者全員(2名まで)の氏名(ふりがな)、(2)代表者の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込み先にお送りください。

申込先:〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸蛭町1-28-9-4F ウィンダム「縄文」展講演会事務局

申込締切:6月18日(月)必着

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は4月3日(火)から7月2日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)
展覧会公式サイトhttp://jomon-kodo.jp/

創刊記念『國華』130周年・朝日新聞140周年

特別展

「名作誕生

—つながる日本美術—

4月13日(金)
▼
5月27日(日)
平成館
特別展示室

再発見された雪舟作品、東京で一般初公開!

2017年秋、「雪舟真筆、84年ぶりに再発見」のニュースが大きな話題となりました。驚くべきは、この雪舟筆「倣夏珪山水図」が極めて良好な保存状態だったことで、小さな画面からは雪舟の息づかいがいきいきと伝わってきます。

「倣夏珪」とは、南宋の画院画家(宮廷画家)・夏珪の画風に倣って描いたという意味で、雪舟は他にも多くの中国画家の作品を規範として画技を磨きました。重要文化財「倣玉澗山水図」(岡山県立美術館蔵、展示期間:～5月6日(日))もその一つで、これらは

かつて一巻だったものが今は断簡となって各地に分蔵されています。ぜひお見逃しなく。(瀬谷愛)



倣夏珪山水図

雪舟等楊筆 室町時代・15世紀

山口県立美術館寄託

青々とした岩や樹々。風にゆれる

旗の色も美しく残っています

展示期間:5月8日(火)～5月27日(日)

観覧料:一般1,600円(1,400円/1,300円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円) * ()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料(入館の際に障がい者手帳などをご提示ください) *前売券は4月12日(木)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、展覧会公式サイト、各種プレイガイドにて販売/お問合せ:03-5777-8600(ハローダイヤル)/展覧会公式サイトhttp://meisaku2018.jp/

特別展 「顔真卿

王羲之を超えた名筆」

唐時代、歐陽詢・虞世南・褚遂良の三大家の伝統を継承しつつ、新たな筆法を創出したのが顔真卿です。本展は、書が普遍的な美しさを獲得した唐時代の書を取りあげ、国内外の名品を通して、顔真卿の人物や書の本質に迫ります。また後世に与えた影響や、日本における受容にも目を向け、唐時代の書の魅力をご紹介します。(富田淳)

2019年
1月16日(水)
▼
2月24日(日)
平成館
特別展示室

唐時代、欧陽詢・虞世南・褚遂良の三大家の伝統を継承しつつ、新たな筆法を創出したのが顔真卿です。本展は、書が普遍的な美しさを獲得した唐時代の書を取りあげ、国内外の名品を通して、顔真卿の人物や書の本質に迫ります。また後世に与えた影響や、日本における受容にも目を向け、唐時代の書の魅力をご紹介します。(富田淳)



自書告身帖
顔真卿筆 唐時代・
建中元年(780)
東京・台東区立書道
博物館蔵

海外展

「江戸絵画名品展(仮)」

9月3日(月)▶10月28日(日) ブーシキン美術館

ジャポニスム2018「縄文展(仮)」

10月17日(水)▶12月8日(土) パリ日本文化会館

特別展

「京都 大報恩寺 快慶・定慶のみほとけ」

大報恩寺は千本通り沿いにあるため千本釈迦堂という別名があります。鎌倉時代、承久2年(1220)に創建され、本堂は京都市内最古の建造物として国宝に指定されています。仏師快慶が造った十大弟子立像、肥後定慶が造った等身大の六観音菩薩像、そして快慶の弟子行快作の秘仏本尊、釈迦如来坐像など慶派仏師の優品を展示します。(浅見龍介)

10月2日(火)
▼
12月9日(日)
平成館
特別展示室
3室・4室



◎准胝観音菩薩立像 (六観音菩薩像のうち)

肥後定慶作 鎌倉時代・貞応3年(1224) 京都・大報恩寺蔵

六観音のうちこの像だけ定慶作の銘が像内に記されています

東京国立博物館・フィラデルフィア美術館

交流企画特別展

「マルセル・デュシャン と日本美術」

米国・フィラデルフィア美術館による「現代アートの父」マルセル・デュシャン(1887-1968)の展覧会と、当館蔵の日本美術で構成する日本美術展をともに開催します。

「泉」、「階段を下りる裸体 No.2」および初来日の油画作品や貴重な資料・写真を含む約150点でデュシャンの人生とその活動を辿る一方、日常生活の道具に見出された「美」や、「ゆがみ」や「ひずみ」といった一見マイナスに見える要素に価値を見出した桃山の美意識など、西洋ではとりあげられない日本の美の特質を浮かび上がらせようという挑戦的な試みです。(鬼頭智美)

10月2日(火)
▼
12月9日(日)
平成館
特別展示室
1室・2室

いづみ 泉

マルセル・デュシャン
1917/1950
フィラデルフィア美術館蔵
世界一?有名な便器。何が
アートかを決めるのは、見る
あなた次第



Philadelphia Museum of Art: 125th Anniversary Acquisition: Gift (by exchange) of Mrs. Herbert Cameron Morris, 1998 © Association Marcel Duchamp / A.D.G.P. Paris & J.A.S.P.A.R. Tokyo, 2017 G1177

今号の名品

2018年4-5月号

重文 摩耶夫人および天人像

通年
法隆寺宝物館第2室

お釈迦さま誕生の瞬間をとらえた、稀有な作例



摩耶夫人(部分)

桜の花が咲きみだれる春、その名も花祭りと呼ばれる仏教法会が、4月8日に各寺院で開催されます。灌仏会や仏生会とも呼ばれており、インドで仏教を創始したお釈迦さまの誕生を祝う法会です。日本でも、6世紀に仏教が伝来してからさほど時を隔てず、遅くとも飛鳥時代の7世紀の初め頃には開催されていたことが知られています。ここに紹介する摩耶夫人および天人像は、飛鳥時代につくられた金銅製の仏像です。これらは群像の一部として灌仏会に用いられていました。もともと奈良の橘寺が所蔵しており、その本寺である法隆寺に移されて伝来したものです。

群像のなかで1人立ち上がり右手を上へ振り上げているのが、お釈迦さまのお母さん、摩耶夫人です。よく見ると、袖から何かが飛び出しています。今まさに生まれようとしているお釈迦さまです。袖からまっすぐ前に飛び出す頭(頭部の頂にこぶ)のようなものがついており、生まれながらにして悟りを開いた仏陀として



天人(一番右)

の身体的特徴を兼ね備えています(合掌する手が見えています)。お釈迦さまは、摩耶夫人の右腋から生まれたと信じられてきたのです。お釈迦さまの生涯は、彼がどれだけ偉大であるかを示すために、不思議な話で彩られています。誕生もその一つです。臨月に近い摩耶夫人がルンビニー園に赴き、ムユウジュという木のオレンジ色の花を摘もうと右手を挙げたとき、その腋の下から生まれたのがお釈迦さまでした。

この摩耶夫人像は右足を一歩前に踏み出し、上半身は少し前傾し、振り上げた右手首をひねっています。花を手折ろうと力を入れたその一瞬をよくとらえています。摩耶夫人の周りの像は空中を飛来してきた天人です。慶事に急いで駆けつけるさまを表そうとしたのでしょうか。後方になびく袖や裾と呼ばれるスカートのかぶりが、いかにも強い風をはらんでいるかのように見えます。まるで演劇の一場面を見ているようにも思われます。お釈迦さまの生涯(仏伝)を浮彫や絵画で表すことはよくありますが、仏像のような立体で表す例は非常に珍しく、本像はその稀有な遺品として注目されるのです。(皿井舞)

『東京国立博物館ニュース』
名品スタンプラリー

★4-5月のスタンプ設置場所:
法隆寺宝物館インフォメーション

★記念品の引換え方法:

4-5月のスタンプを押して、スタンプ帳を法隆寺宝物館インフォメーションにご提示ください。スタンプ計6個を集めた方に、記念品をお渡します。

*スタンプ帳には引換終了印を押します。



◎摩耶夫人および天人像 飛鳥時代・7世紀

まもなく終了

春限定の特別企画

博物館でお花見を

「博物館でお花見を」は、桜づくしのトーチを満喫できる毎年恒例の大人気企画。桜にゆかりのある作品や庭園に咲き誇る桜、バラエティに富んだ桜イベントで、トーチでしかかなわない贅沢なお花見をお楽しみください。

3/13(火)
▼
4/8(日)

本館桜めぐり 展示室でお花見

本館の展示室では花見や桜を題材にした作品を多数展示しています。桜の作品を探しながら展示室をめぐるスタンプラリーも開催中。5つのスタンプを全部集めたら、オリジナル缶バッジをプレゼントします！



◆桜スタンプラリー

「博物館でお花見を」期間中、毎日実施。台紙の配布・バッジの引換え場所:本館エントランス(引換えは10:00～閉館まで)



かんおう すいようぶ 観桜図屏風 (部分) 本館7室 住吉具慶筆 江戸時代・17世紀 西脇健治氏寄贈

春の庭園開放 お庭でお花見

今年の庭園開放は過去最長の5月20日(日)まで。遅咲きのカンザンやケンロクエンキザクラはこれから見ごろを迎えます。また桜が散ったあとには、庭園全体が新緑に。初夏の暖かな庭園もぜひお楽しみください。



開放期間:3月13日(火)～5月20日(日) 10:00～16:00

*桜ライトアップ実施日は19:30まで *悪天候により中止の場合があります

◆桜ライトアップ

3月30日(金)・31日(土)、4月6日(金)・7日(土)



◆さくらカフェ

3月13日(火)～5月20日(日) 10:00～16:00

*3月30日(金)・31日(土)、4月6日(金)・7日(土)は18:00まで *ラストオーダーは閉店の15分前 *悪天候により中止の場合があります



桜イベント

*すべて参加無料(ただし、当日の入館料が必要)、事前申込み不要です。

◆東博句会「花見で一句」

桜咲く庭園や桜をモチーフにした作品をテーマに一句詠んでみませんか? ご応募は構内4カ所に設置された投句ポストまで。入選作品は本誌8-9月号、当館ウェブサイトにて発表、記念品を贈呈します。「博物館でお花見を」期間中、毎日受付。



◆桜ワークショップ「春らんまん 桜ぬりえ」

桜をモチーフにした作品のぬりえです。思い思いに色をつけ、自分だけの春らしい作品をつくりましょう。展示室にある作品の色づかいにも注目してみてください。



日時:3月29日(木)～4月2日(月) 各日11:00～16:00 *ぬりえシートがなくなり次第終了 会場:本館2階ラウンジ

◆桜ギャラリートーク

「国宝『花下遊楽図屏風』を楽しむ」満開の桜の下、歌舞音曲の宴を楽しむ人々が六曲一雙の大画面に描かれます。今から400年前のお花見を描いた作品の魅力や見どころをご紹介します。

日時:4月4日(水) 14:00～14:30 講師:大橋美織(絵画・彫刻室研究員) 会場:本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)



◆桜セミナー

「桜咲く絵画の世界」桜は、日本人に最も親しまれている花ではないでしょうか。桜の描かれた絵画を紹介し、その人気の秘密を考えます。

日時:4月7日(土) 13:30～15:00 (13:00開場予定) 講師:田沢裕賀(学芸研究部部長) 会場:平成館大講堂



◆ボランティアによるガイドツアー

桜にちなんだ作品や構内の見頃の桜など、さまざまなテーマで「トーチの桜」をご案内します。 *日時・テーマは本誌16ページまたは当館ウェブサイトでご確認ください。

◆桜の街の音楽会

「東京・春・音楽祭」参加アーティストによる無料のミニコンサートです。

*各回20分程度 4月2日(月)11:00～ VIVE! サクソフォーン・クワルテット 会場:正門前(雨天時は本館前)



4月2日(月)13:00～ 坂東真奈実(ヴァイオリン) & 黒川実咲(チェロ) 会場:法隆寺宝物館エントランス

主催:お問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 (TEL:03-5205-6497) ウェブサイト <http://www.tokyo-harusai.com/>

桜は「博物館でお花見を」関連作品です。

サルのひろば

平成館
企画展示室

4月17日(火)
5月20日(日)

上野公園にある東京国立博物館、国立科学博物館、そして恩賜上野動物園の連携企画動物めぐりも今年で12年目。今年のテーマは「サル」です。
リアルに描かれたサル、願いをこめてつく

られたサル、そしてインドのサルの神さまなど、美術に表されたさまざまなサルを展示します。また上野動物園にいる本物のサルの映像も用意していますので、美術のなかのサルと見比べてみてください。
(勝木言一郎)



ハヌマーン

インド生まれのサルの神さまハヌマーンは、東南アジアでもあつく信仰されています。

ハヌマーン立像

カンボジア
アンコール時代・11世紀



サルに願いを

ばえんこうす
●馬猿猴図
からえてかみ ひっこうえん
(唐絵手鑑「筆耕園」の内)

趙雍筆 中国
明時代・15～16世紀

中国では昔から「早く出世しますように」との願いをこめて、ウマの上に乗ったサルを描いてきました。



本物そっくり!

さるす
猿図
森狙仙筆 江戸時代・19世紀
亡九鬼隆一郎相続財産法人寄贈
まるでカメラで撮影したかのようにリアルに描かれたサルの絵。サルが鳶につかまったその一瞬をとらえています。



関連イベント

- ギャリートーク「親子のギャラリーの展示デザイン」→12ページ
- ツアー「上野の山でサルめぐり」→13ページ

日本人に身近なサル

日本人とサルのかかわりは縄文時代にまでさかのぼります。サルをかたどったと思われるこちらの土製品は、サルが古くから身近な存在であったことをうかがわせます。



さるかたどせいひん
猿形土製品
埼玉県さいたま市岩槻区 真福寺貝塚出土
縄文時代(晩期)・前1000～前400年

2018年度の総合文化展

国宝室(本館2室)の予定

～4月8日(日)

●花下遊楽図屏風
狩野長信筆
江戸時代・17世紀



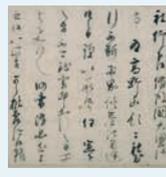
7月10日(火)～
8月5日(日)

●群書治要
卷三十一
平安時代・11世紀



10月30日(火)～
11月25日(日)

●宝簡集 卷第二
平安～南北朝時代・
12～14世紀
和歌山・金剛峯寺蔵



2019年
2月13日(水)～
3月10日(日)

●山越阿弥陀図
鎌倉時代・13世紀
京都・禅林寺蔵



4月10日(火)～
5月13日(日)

●法華經(久能寺経)
ほうなんばん
方便品
平安時代・12世紀
静岡・鉄舟寺蔵



8月7日(火)～
9月2日(日)

●伝教大師度縁案
並 僧網牒
平安時代・9世紀
京都・来迎院蔵



11月27日(火)～
12月9日(日)

●善無畏像
平安時代・11世紀
兵庫・一乗寺蔵



2019年
3月12日(火)～
4月7日(日)

●花下遊楽図屏風
狩野長信筆
江戸時代・17世紀



5月15日(火)～
6月3日(日)

●山水屏風
せんすいびょうぶ
鎌倉時代・13世紀
京都・神護寺蔵



9月4日(火)～
9月30日(日)

●十六羅漢像
ろくにんぞう
(第一尊者・第五尊者)
平安時代・11世紀



2019年
1月2日(水)～
1月14日(月)

●松林図屏風
しょうりんずびょうぶ
長谷川等伯筆
安土桃山時代・16世紀



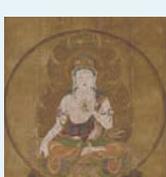
6月5日(火)～
7月8日(日)

●和歌体十種
わかたいじゅうしゅ
平安時代・11世紀



10月2日(火)～
10月28日(日)

●虚空蔵菩薩像
こくうざうぼさつぞう
平安時代・12世紀



2019年
1月16日(水)～
2月11日(月)

●延喜式 卷一
えんぎしき
平安時代・11世紀



注目の企画

博物館でアジアの旅
9月4日(火)～9月30日(日)

博物館に初もうで

2019年
1月2日(水)～1月27日(日)

博物館でお花見を

2019年
3月12日(火)～4月7日(日)

作品が語る、トーハク近代の歩み

明治・大正期のトーハク

明治 4年 (1871)	文部省に博物館設置
明治 5年 (1872)	湯島聖堂で文部省博物館として最初の博覧会を開催(博物館の創立・開館)
明治 6年 (1873)	ウィーン万国博覧会参加のための博覧会事務局に博物館が合併、内山下町(現千代田区内幸町)に移転
明治 8年 (1875)	博覧会事務局が内務省の所管となり博物館と改称
明治 9年 (1876)	上野公園が博物館所管となる
明治 14年 (1881)	農商務省所管となる。上野公園内旧寛永寺本坊跡地にコンドル設計の博物館新館(旧本館)が竣工、 第二回内国勲業博覧会 の会場となる
明治 15年 (1882)	新館(旧本館)開館。法隆寺献納宝物を収蔵。旧十輪院宝蔵(校倉)を移築
明治 19年 (1886)	宮内省の所管となる
明治 22年 (1889)	帝国博物館となる。総長に九鬼隆一、美術部長に岡倉天心が就任
明治 33年 (1900)	東京帝室博物館と改称
明治 34年 (1901)	1900年のパリ万国博覧会出品古美術作品による第1回の特別展を開催
明治 42年 (1909)	皇太子殿下(大正天皇)の御成婚記念として表慶館開館
大正 6年 (1917)	森鷗外、総長に就任
大正 12年 (1923)	関東大震災で旧本館が損壊。現在の本館は昭和13年(1938)に開館

平成30年(2018)は、明治元年(1868)から満150年の年にあたります。明治5年(1872)を創立・開館年とするトーハクには、明治期の気風が感じられる作品が多数展示されています。近代化の歩みとともに生まれた逸品が見られる展示室をご紹介します。

本館18室 近代の美術

～12月25日(火)

本館18室では、ウィーンやパリで行われた万国博覧会に出品された作品や、帝室技芸員の優れた技があらわれた作品によって、1年を通して「明治150年」の歩みを紹介します。

明治期の日本は、近代的な文明国家となるために、もともとあった物作りの世界と、西洋芸術の価値観との違いのなかで葛藤しました。展示室では、作品情報を記した札(写真下)に「第二回内国勲業博覧会出品」などと書かれた作品にもご注目いただき、世界に問うた日本の精華をぜひご覧ください。(松嶋雅人)

◎褐釉蟹貼付台付鉢

初代宮川香山 明治14年(1881)
第二回内国勲業博覧会出品
～6月17日(日)

荒々しいフォルムの鉢に、本物さながらの2匹の蟹がはりついています



博覧会に出品された作品には、年号の下にその情報が記載されています

本館15室 歴史の記録

5月15日(火)～7月8日(日)

特集「就任100年 帝室博物館総長森鷗外の筆跡」

森林太郎(鷗外)は作家、軍医としてよく知られていますが、最後の公職はトーハクの前身である帝室博物館の総長でした。大正6年(1917)末に就任、大正7年から本格的に仕事を始め、同11年7月に在職のまま亡くなりました。

就任から100年が過ぎた今年、公文書・調査記録・書籍の序文など、館内の各種資料に残る鷗外自身の筆跡を集め、亡くなる直前まで熱心に博物館の仕事に取り組んだ鷗外の姿をうかがえます。(田良島哲)



上野公園ノ
ほうりつじけ
法律上ノ性質

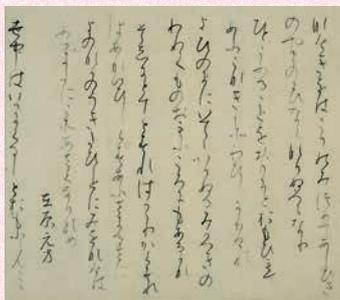
森鷗外筆
大正9年(1920)
森鷗外が博物館総長
在任中に、上野公園
の管理について論じ
た自筆の原稿

4月17日(火)▼5月6日(日) 本館8室・11室

特集「平成30年新指定 国宝・重要文化財」

◎古今和歌集 卷十九断簡 (高野切)

伝紀貫之筆
平安時代・11世紀
森田竹華氏寄贈
若々しい連綿の中に、「の」や「は」の字は整った形です



(部分)

○大字和漢朗詠集切

伝藤原行成筆
平安時代・11世紀
森田竹華氏寄贈
端正な漢字と流麗な仮名が静かに調和しています



「高野切」は、「古今和歌集」の現存する最古の写本で、日本の書の歴史において基本中の基本といえる名筆です。平安時代最高峰とされる「高野切」の仮名は、現代のひらがなの規範となるものです。「高野切」は、三人で寄合書きされており、それぞれの筆者を、高野切第一種、第二種、第三種と呼んでいます。今回の特集では、まず、「高野切」の三人の筆跡をご堪能いただけます。さらに、彼らが揮毫した別の作品と、彼らの筆跡に類似する同時代の作品も展示します。平安の美しいひらがなの形をお楽しみください。(恵美千鶴子)

5月8日(火)▼7月1日(日) 本館特別1室

格調高き書風に注目! 特集「ひらがなの美—高野切—」

本館の特集に注目

主催・文化庁、東京国立博物館

東洋館

東洋館でまず見るべき青銅器

饗養文甗

通年

5室 中国の青銅器



饗養文甗

中国 殷時代・前13～前11世紀
坂本キク氏寄贈

儀式用の酒などをおさめた、ずんぐりとした容器を甗と呼びます

広い展示室の中で揺るぎない存在感を放つ饗養文甗。当館の青銅器を代表する作品です。そとと歩み寄ってみましょう。まず目に飛び込んでくるのが、胴部に表された大きな顔。巻き角に開いた口、そして少し膨らんだ瞳にくぎづけになります。一見すると強面ながら、決して威圧的ではないこの文様は、饗養文あるいは獣面文と呼ばれています。饗養文は、今から3000年以上前の殷(商)時代に特に重んじられ、青銅器の目立つ場所に大きく表現されました。当時あがめられた最高神とも、土地神とも、祖先神ともいわれています。(市元墨)

東洋館

墨ならではの表現の妙に注目

「墨の世界の生き物たち」

4月17日(火)～5月20日(日)

8室 中国の絵画



竹鶏図軸 羅窓筆

中国 南宋時代・13世紀
午前4時、朝まだき幽暗を表現する墨の諧調は見事。峻厳な鶏の目つきもスゴイ!

墨という素材は、濃淡のグラデーションを豊かに表現します。また、水分の含有量を変えることで、かすれやじみみ自在に組み合わせることもできます。中国では古くから、このような墨の特性を活かして、様々な生き物を描いてきました。今回は、南宋時代の水墨画の名手・牧谿の画風を継承する作品や、明時代に流行した龍魚図、同じく明時代の浙派による粗放な筆墨を駆使した花鳥図、清時代の大都市・揚州で栄えた花卉雑画など、13世紀から19世紀にかけての、水墨による生き物表現の展開をご紹介します。(富田淳)

東洋館

高さ10cm、墓に納めたミニチュア

緑釉鳥

4月24日(火)～10月14日(日)

10室 朝鮮の磨製石器と金属器



緑釉鳥

伝楽浪古墳出土 案浪・1～3世紀
小倉コレクション保存会寄贈

翼は省略されていますが、目、くちばしが丁寧に作り出されています

朝鮮半島北部の楽浪では、紀元前2世紀末に中国から漢文化がおよびました。鉛を含んだ釉薬で緑色に焼き上げる緑釉陶器もその一つです。この鳥は、お墓に納めたミニチュア(明器)のようです。おそらく、緑釉の大盤を池に見立て、その中にこの鳥や、ほかの小さな緑釉陶器を置いて、憧れの庭園を表していたのでしょう。最近の修理のとき、以前の修理で首が長めになっていたことがわかり、本来の長さに修正されました。首長竜のような姿から元の水鳥らしさを取り戻して、初めてのお披露目です。(白井克也)

東洋館

世界を魅了した鮮やかな模様染

「インドの染織」

4月10日(火)～7月1日(日)

13室 アジアの染織



ビチャヴァイ(礼拝用掛布) (部分)

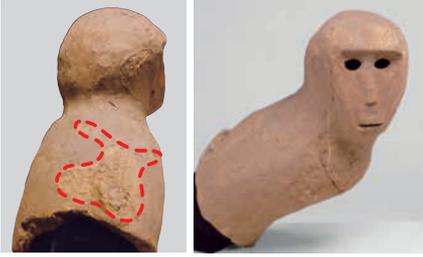
クリシュナ図金更紗

インド・マスリバタム 18世紀

クリシュナ神が乳搾りの女性であるゴビたちに取り囲まれるシーンです

春の東洋館では、インド更紗を中心に、錦、緋などさまざまなインド染織を展示します。大航海時代にオランダの東インド会社がヨーロッパやタイ、インドネシア、日本向けにデザインさせた輸出用更紗などを見ると、インドで染めた鮮やかな色彩の模様染が世界の人々を魅了した時代がよみがえります。今回展示する中でも特に美しい金更紗は、北インド地方で信仰の厚かったクリシュナ神の説話を手描きで表しています。北インドのナタドゥアラの下絵様式を用いて、インド南東の海岸で制作注文を受けたものです。(小山弓弦葉)

Pick up!



●**埴輪 猿**

伝茨城県行方市 大日塚古墳出土
古墳時代・6世紀

子猿は両手を広げてお母さんの背中にしがみついていたようです(写真左)

が感じられます。
(山本亮)

平成館企画展示室では親と子のギャラリ―「サルひろば」(→5ページ)が開催されますが、向かいの考古展示室では猿の埴輪をご覧いただけます。眉が出っぱり鼻の下が長く、赤い顔に加え、前かがみから見返るしぐさなど、猿の動きや特徴をよくとらえています。耳や手は取れてしまっていますが、よく見ると背中にも何かがはがれた痕があり、どうやら本来は子どもを背負うお母さん猿だったようです。後ろを振り返るのも、背中の子を気にしているのかもしれない。親子の愛情が感じられます。

平成館

猿の背中にいたのは…?

重文 埴輪 猿

6月3日(日)

考古展示室

法隆寺宝物館

平安後期の螺鈿の名品

重文 鳳凰円文螺鈿唐櫃

4月24日(火)～6月17日(日)

第4室



●**鳳凰円文螺鈿唐櫃** 平安時代・12世紀
両翼を広げた鳳凰を円形にデザインした螺鈿が印象的です

唐櫃とは、箱の前後や左右に脚を付けた収納具です。箱の底を地面から浮かせて、内容品を湿気などから守る構造となっています。これを唐櫃とよぶのは、もとは中国から伝わった形式だったからなのでしょうが、やがて蒔絵や螺鈿で装飾されたりして、日本の独自の調度品となりました。本作品は、平安後期の螺鈿漆器として名高いもので、その蓋表・側面・脚部に夜行貝の螺鈿による円形の鳳凰文が白く輝いています。この鳳凰円文は歌舞伎座の暖簾や提灯などの文様のモデルにもなっています。(猪熊兼樹)

黒田記念館

作品から伝わる親密な雰囲気

もるる日影

3月20日(火)～5月6日(日)

黒田記念室



●**もるる日影**

黒田清輝筆
大正3年(1914)

黒田の日記によれば幼いモデルがなかなか落着かず、黒田を困らせたこともあったようです

この作品は洋画家の黒田清輝が、妻の照子の姪である金子君子をモデルに自宅の庭で描いたものです。2歳のときに母親を亡くしたこともあり、実子のいなかった黒田家では君子を引き取って養女のように育てていました。黒田はたびたび君子をモデルに作品を描いていますが、政治家や実業家から頼まれて制作した謹厳な肖像画とは異なり、明るい色彩のなかに身内の幼女子への親愛の情が感じられます。
(東京文化財研究所・塩谷純)

1000年後の未来にバトンタッチ!



文化財修理で使用される接着剤の一例

求められます。
(野中昭美)

保存と修理情報 46

適した接着剤を選ぶことの大切さ

文化財修理の重要な処置の一つに、接着剤があります。ただくっつけば良いということではなく、文化財の材質、技法、構造、そして損傷の状態に合った接着剤を選択しなければなりません。

文化財修理では将来的な再修理も想定し、小麦粉でんぷんなどの天然素材だけでなく、アクリル樹脂、エポキシ樹脂などの合成樹脂も含め、様々な接着剤の中から適したものを選びます。また実際の作業に入る前に、接着剤の濃度や乾燥後の状態などのテストをします。そのため接着には、古典材料や技法だけではなく、多様な樹脂の性質や取り扱い方、接着のメカニズムなど、幅広い知識や経験が求められます。

5月 展示案内

- 4
- 3-3
- 3-2
- 3-1
- 2

- 14
- 13-3
- 13-2
- 13-1
- 12

- 1-1: 日本美術のあけぼの一縄文・弥生・古墳
- 1-2: 仏教の興隆—飛鳥・奈良
- 2: 国宝室
- 3-1: 仏教の美術—平安～室町
- 3-2: 宮廷の美術—平安～室町
- 3-3: 禅と水墨画—鎌倉～室町
- 4: 茶の美術
- 5-6: 武士の装い—平安～江戸
- 7: 屏風と襖絵—安土桃山・江戸
- 8-1: 暮らしの調度—安土桃山・江戸
- 8-2: 書画の展開—安土桃山・江戸
- 9: 能と歌舞伎
- 10: 浮世絵と衣装—江戸
- 11: 彫刻
- 12: 漆工
- 13-1: 金工
- 13-2: 刀剣
- 13-3: 陶磁
- 14: 特集
- 15: 歴史の記録
- 16: アイヌと琉球
- (17: 保存と修理)
- 18: 近代の美術



-4/22日 3-2

◎**麿目屏風**
室町時代・16世紀
岡崎正也氏寄贈

(左隻部分) (部分)

4/24日-5/27日

◎**土蜘蛛草紙**

鎌倉時代・14世紀
平安時代中期の武将・源頼光による土蜘蛛退治を描く絵巻です



-7/16日(祝) 1-1

◎**埴輪 踊る人々**

埼玉県熊谷市 野原古墳出土
古墳時代・6世紀
踊る人か、馬をひく人とみられる、独自の造形の人物埴輪です

-5/6日 土偶

山梨県笛吹市御坂町
上黒駒出土
縄文時代(中期)・
前3000～前2000年
宮本直吉氏寄贈



-4/22日 3-3

◎**四季山水図屏風**

伝周文筆 室町時代・15世紀
四季おりおりに美しい大自然を居ながらに味わえます

(右隻部分)

4/24日-5/27日

◎**四季山水図屏風**

伝周文筆 室町時代・15世紀

舶来した中国名画の諸図様を引用して、四季の大自然が構成されています



(右隻部分)



-4/22日 1-2

◎**註楞伽經断簡** 奈良時代・8世紀 植村和堂氏寄贈

大ぶりに書かれた大字経で、奈良時代大字写経の名品です



(部分)

4/24日-5/27日

◎**百万塔陀羅尼** 奈良時代・8世紀

陀羅尼は、年記の明らかな現存する印刷物では世界最古のもので



-4/22日 7

◎**観桜図屏風**

住吉具慶筆
江戸時代・17世紀
→4ページ

(部分)

4/24日-5/27日

◎**大原御幸図屏風**

長谷川久蔵筆 安土桃山時代・16世紀
「平家物語」終盤。平家滅亡後、後白河法皇は大原に隠棲した建礼門院を訪ねます



-6/17日 4

◎**色絵桜川文德利**

伊万里
江戸時代・17世紀
広田松繁氏寄贈

茶人に特に人気の高い瓢形の德利。川を流れる桜の花びらを意匠化しています



◎**耳付花入**

伊賀
江戸時代・17世紀



(左隻部分)

-4/8日 2

◎**花下遊楽図屏風**

狩野長信筆 江戸時代・17世紀

4/10日-5/13日

◎**法華経(久能寺経)方便品**

平安時代・12世紀
静岡・鉄舟寺蔵

平安時代後期を代表する絢爛豪華な装飾経。1人1巻ずつ30人が写経に関わりました



(部分)

5/15日-6/3日

◎**山水屏風**

鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵
密教の灌頂(かんじょう)儀式で用いられた、現存最古のやまと絵屏風です



(部分)

5/8日-7/22日

◎**蛇籠千鳥蒔絵硯箱**

江戸時代・18世紀
広田松繁氏寄贈

流水と蛇籠をクロスアップした図案は、当時人気の光琳風です



★4/17日-5/6日

特集「平成30年 新指定 国宝・重要文化財」

-4/15日 8-1

◎**吉野山蒔絵棚**

江戸時代・19世紀
矢野鶴子氏寄贈



5-6



-5/6日

◎**金小札紅糸中白威腹巻**

安土桃山時代・16世紀

伝統的なかたちですが、華やかな仕立てに時代の好みが見られます



5/8日-6/3日

◎**一行書**

陽元隆琦筆
江戸時代・17世紀
中国から日本に渡来し、黄檗宗(おうぼくしゅう)を開いた禅僧陽元の大字の書です

★4/17日-5/6日

特集「平成30年 新指定 国宝・重要文化財」

-4/15日

◎**源氏物語図屏風**

(総合・胡蝶)
狩野晴川院(養信)筆
江戸時代・19世紀 (胡蝶部分)



-4/22日

◎**天狗草紙(東寺・醍醐寺巻)**

鎌倉時代・13世紀



4/24日-5/27日

◎**普賢十羅刹女像** 鎌倉時代・14世紀

法華経信仰者の守護神となった鬼女たち。ここでは愛らしい宮廷女性に描かれています



4月
本館展

-5/20 13-3
色絵桜樹図透鉢
仁阿弥道八作 江戸時代・19世紀
白、赤、青で点描画のように描かれた桜が、鉢の中に咲きほこります

5/22(火)-6/24(日)
鼠志野鶴鶴文鉢 美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀

-4/22 10 衣装
振袖 染分縮緬地
枝垂桜菊短冊模様
江戸時代・18世紀

4/24(火)-6/17(日)
小袖
白黒紅染分縮子地熨斗藤模様
江戸時代・17世紀
江戸時代初期に流行した「地無」と呼ばれる着です

-4/22 14
能面 大徳見
「佐渡嶋／透作久知住」刻銘
室町時代・15世紀 文化庁蔵
→7ページ

4/24(火)-6/24(日)
志野茶碗 銘 橋姫 美濃
安土桃山～江戸時代・16～17世紀
松永安左工門氏寄贈 →7ページ

本館 1F: 11~16, 18

-4/15 11
不動明王立像
平安時代・11世紀 岡野哲策氏寄贈
サクラ材の像。両目を見開いて上歯で下唇を噛むという顔は、空海が請来した曼荼羅ゆかりのものです

4/17(火)-7/22(日)
吉祥天立像
京都・大宮神社伝来
平安時代・10世紀
豊穰や福徳をつかさどる女神。日本では奈良時代以降、信仰が盛んになりました

★4/17(火)-5/6(日)
特集「平成30年 新指定 国宝・重要文化財」

-5/13 15
文久遣欧使節「福地源一郎」写真
ロビラール撮影 江戸時代・文久2年(1862)
福地源一郎(1841～1906)。文久遣欧使節には通訳として参加しました

5/15(火)-7/8(日)
上野公園ノ法律上ノ性質
森鷗外筆 大正9年(1920) →6ページ

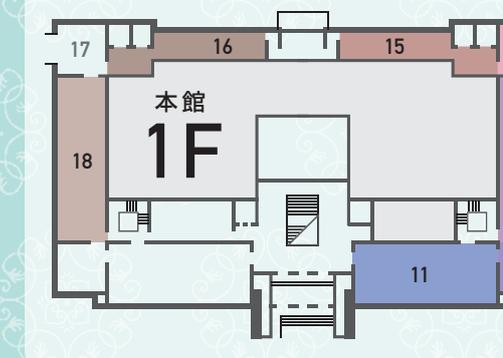
-5/20 16
アイヌ鋏形
北海道アイヌ
北海道栗山町角田字桜山出土
19世紀
尾田勝吉氏・泉麟太郎氏寄贈
兜の前立てにつく鋏形を模して作られたアイヌの人の宝器です

5/22(火)-6/24(日)
神扇 奄美大島
第二尚氏時代・19世紀
大和良子氏寄贈
神女が儀式で用いた大形の扇。
太陽と鳳凰が極彩色で描かれています

-4/8 12
塩山蒔絵硯箱
室町時代・15世紀

4/10(火)-7/1(日)
男山蒔絵硯箱 室町時代・15世紀

和歌に取材した意匠を高度な技巧で表現した、室町時代蒔絵の名品です



-4/22 9
厚板 紅縁段雲矢襦
麟模様 江戸時代・19世紀
→7ページ

4/24(火)-6/17(日)
襦袢 紺地二重菱牡丹
唐草文金襴
和歌山・丹生都比売神社伝来
南北朝時代・14世紀
中国・元からもたらされた貴重な金襴で仕立てられた袖無の上衣です

-4/8 13-1
銅梅竹透釣燈籠
千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土
室町時代・天文19年(1550)
畑野勇治郎氏寄贈
金や銅物の生産地として名高かった天明(てんみょう)で作られたと考えられます

4/10(火)-7/1(日)
金銅灌仏盃 平安時代・12世紀
誕生仏に甘茶を注ぎ供養する際に、それを受けるうつわです

-5/6 18
嵐山春景 塩川文鱗筆
明治6年(1873) 塩川文鱗氏寄贈
桜の名所、京都嵐山。桂川が流れ、山の斜面に桜が満開です

5/8(火)-6/17(日)
煽 上村松園筆
大正7年(1918)
→7ページ

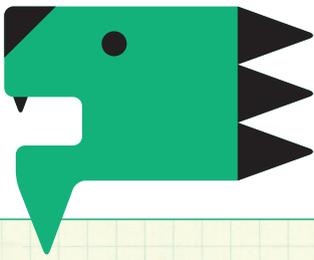
-4/8 13-2
太刀 古備前包平(名物 大包平)
平安時代・12世紀
古備前鍛冶の刀工、包平の代表的な作例です

4/10(火)-6/24(日)
太刀 銘 吉房 鎌倉時代・13世紀

4/17(火)-5/13(日) 10 浮世絵
め組の喧嘩
豊原国周筆 明治時代・19世紀
歌舞伎で演じられため組の斎辰五郎と力士四ツ車大八の乱闘場面

-4/15 10
飛鳥山花見
鳥居清長筆
江戸時代・18世紀

5/15(火)-6/3(日)
見立伊勢物語(八つ橋)
鈴木春信筆 江戸時代・18世紀
『伊勢物語』「八橋」を旅姿の若い男女にやつし、季節感豊かに描いています



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース
EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

教育普及事業

ART
1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講演会・ギャラリートーク・ガイダンス

講演会

桜セミナー「桜咲く絵画の世界」

* 関連展示：本誌4ページ
日時：4月7日(土) 13:30~15:00
講師：田沢裕賢(学芸研究部長)
桜は、日本人に最も親しまれている花ではないでしょうか。桜の描かれた絵画を紹介し、その人気の秘密を考えます。

日本の春ってサイコーね!

花の図鑑



月例講演会「博物館総長 森鷗外の筆跡」

* 関連展示：本誌6ページ
日時：5月19日(土) 13:30~15:00
講師：田良島哲(博物館情報課長)
トーハクの前身である帝室博物館の総長だった鷗外。博物館の公文書や書籍の中に隠れた鷗外の筆跡を通じて、その仕事ぶりをうかがいます。

* 会場は平成館大講堂、定員380名、聴講無料(ただし、当日の入館料が必要)
* 開場は開始の30分前(予定)

ギャラリートーク

立体作品修理の現場から

日時：4月3日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師：野中昭美(保存修復室アソシエイトフェロー)
作品の状態や展示活用に合わせた処置方法の違いなど、修理の難しさやおもしろさについて、展示作品を見ながらお話しします。

親子のギャラリーの展示デザイン

* 関連展示：本誌5ページ
日時：4月17日(火) 14:00~14:30 平成館企画展示室
講師：神辺知加(ボランティア室主任研究員)
博物館を楽しんでもらうため、作品をより近くで鑑賞できることを目的とした展示デザインについてお話しします。

法隆寺の宝物を読み解く

日時：4月24日(火) 14:00~14:30 法隆寺宝物館第6室
講師：三田覚之(教育普及室研究員)
染織品や書跡を中心に、法隆寺献納宝物の由来や伝説について、作品を前にしながら語ります。

高野切と仮名の美

* 関連展示：本誌6ページ
日時：5月8日(火) 14:00~14:30 本館特別1室
講師：恵美千鶴子(百五十年史編集室長)
平安時代を代表する名筆「高野切」の仮名の魅力を解析します。

楽二代常慶の選択

日時：5月22日(火) 14:00~14:30 本館13室
講師：今井敦(調査研究課長)
長次郎に始まり、一子相伝という特異な形で今日まで続く楽家。激動の時代を乗り越え、楽家の礎を築いた二代常慶の事績を辿ります。



白染獅子香炉
常慶作 江戸時代・17世紀
展示期間：5月22日(火)~
6月24日(日) 本館13室

中国の石仏

日時：5月29日(火) 14:00~14:30 東洋館ミュージアムシアター
講師：勝木言一郎(教育講座室長)
東洋館に展示されている中国の石仏について、雲崗石窟、龍門石窟、響堂山石窟、天龍山石窟など、中国を代表する石窟寺院の説明を交えながら、解説します。

国際博物館の日記念ガイダンス

「トーハクへようこそ」

日時：5月18日(金) 11:00~11:30、14:00~14:30
本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
講師：小島有紀子(教育講座室アソシエイトフェロー)
トーハクをもっと楽しんでいただくため、博物館の仕事の裏側と今日のおすすめ作品を紹介します。

トーハクピギナーのみなさん、ぜひご参加ください!



ART
2

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

アートスタジオ

子どもの勾玉作り

平成館考古展示室にある勾玉を見学した後に、滑石を加工してオリジナルの勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。



日時：① 6月3日(日) ② 7月1日(日) いずれも13:30~15:30
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：小学3年生~中学生(保護者の見学可)
定員：20名程度(応募者多数の場合は抽選)
参加費：無料(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトのフォームが往復はがきでお申込みください。往復はがきの場合は、「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな、学年(2)参加者全員の郵便番号・住所、(3)代表者の電話番号、(4)見学希望の保護者の人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ、下記申込先にお送りください。

申込締切：① 5月7日(月) 必着
② 6月4日(月) 必着

申込先：〒110-8712
東京都台東区上野公園13-9
東京国立博物館ボランティア室
①「6月3日勾玉作り」、または
②「7月1日勾玉作り」係

お問合せ：TEL 03-3822-1111(代)
ボランティア室



* 事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します(国際博物館の日記念ツアーを除く)。
* 実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、各申込先に電話でお問合せください。TEL:03-3822-1111(代)
* 各種催し物にご応募の際に提供いただいた個人情報、当該の目的のみに使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。
* インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。
* 緑の矢印は「ヒアリンググループ」対応、赤の矢印は「UDトーク」対応のイベントです。

五感を使った美術体験 ワークショップ・ツアー

ワークショップ

日本文化との出会い「書体験」

日本文化を代表する書に親しむ第一歩。トーハク所蔵の作品をお手本に、うちに一文字、筆ペンで書いてみましょう。書く体験をしたあとは、もっと楽しく書を鑑賞できるはず。



期間：5月22日(火)～6月10日(日)
時間：11:00～16:30(受付は～16:00)
会場：本館2階ラウンジ 定員：各日200名
参加費：100円(ただし、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、別途当日の入館料が必要) *当日受付。事前申込不要。

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

「友禅染に挑戦」

染物の技法のひとつ、友禅。絹地に、筆や刷毛を使って色を挿し、着物のような華やかな模様をつくり出してみませんか？



日時：5月26日(土) ①10:00～12:30 ②14:00～16:30
会場：本館地下 みどりのライオン(教育普及スペース)
対象：①小学4年生～中学3年生とその保護者のペア ②高校生以上
定員：①10組20名 ②15名(いずれも応募者多数の場合は抽選)
参加費：3,000円(また、高校生を除く18歳以上70歳未満の方は、当日の入館料が必要)
申込方法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。
*①②ともに1回の入力で2名まで申込可。
申込締切：①②ともに5月7日(月) 必着
*①は2人で1つ、②は1人1つずつ作品を作ります。
*「UDトーク」による情報保障をご希望の方は申込時にお知らせください。
お問合せ：TEL 03-3822-1111(代) 教育普及室

事前申込制 [往復はがき、Eメール]

国際博物館の日記念ツアー

「上野の山でサルめぐり」

*関連展示：本誌5ページ

「サル」をテーマに上野動物園、国立科学博物館、東京国立博物館の専門家と3つの施設をめぐりながら、各施設をつないで見る新しい楽しみ方を見つけに行きましょう。目指せ、サル博士！

日時：5月13日(日) 9:00～12:30
会場：上野動物園→国立科学博物館→東京国立博物館の順に巡ります。
対象：小学5年生以上(開催時)

*小学生のみの申込みの場合は保護者1名の同伴が必要。

*1回につき4名まで申込可。

定員：30名(応募者多数の場合は抽選、当選者には4月28日(土)までに参加証を発送)

参加費：無料 持ち物：筆記具・飲み物

申込方法：下記の項目を明記のうえ、はがきまたはEメールでお申込みください。(1)参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢(学年)、(2)代表者の住所・氏名(ふりがな)・電話番号、(3)「質問1:このイベントを何で知りましたか?」、「質問2:このイベントに関し、興味があること、または質問したいこと」

申込先：(はがき) 〒110-8711 東京都台東区上野公園9-83
上野動物園 教育普及係「サルめぐり2018」

(Eメール) sarumeguri2018@tokyo-zoo.net

件名「サルめぐり申込」

お申込みの際は、@tokyo-zoo.netからのEメールを受信できるように、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。特に携帯電話からお申込みの方はご注意ください。なお、自動返信などによる確認メールの送信はありません。

申込締切：4月22日(日) *はがきは当日必着、Eメールは4月22日(日) 送信分まで有効。

*当日、取材が入る場合があります。また、職員が記録撮影を行いますのでご了承ください。

お問合せ：TEL 03-3828-5171(代)

恩賜上野動物園・教育普及課・教育普及係



猿図(部分)

森狙仙筆 江戸時代・19世紀 亡九鬼隆一郎相続財産法人寄贈
展示期間：4月17日(火)～5月20日(日) 平成館企画展示室



2017年度の思い出&2018年度の抱負を語るほ!

トナーハクくんとユリノキちゃんが広報大使2年目を総括します。さらに2人の2018年度の抱負も発表します!

2017年度 2人の思い出 No.1

「世界キャラクターサミット in 羽生 2017」

ほくの地元埼玉(*)に登場したんだほ。「風神雷神図屏風」の雷神さまのかっこうをして、得意のダンスも披露したほ!トナーハクのPRもばっちりできたほー

*トナーハクくんは埼玉県熊谷市野原古墳出身なのです!



ばっちり雷神さんに変身できているほ?

トナーハクブース前にてユリノキちゃんと記念撮影



「樹木ツアー」

私は樹木ツアー。毎月第一土曜日、ボランティアさんと一緒に樹木ツアーでユリノキでのガイド役をこなしたの。お客様からも分かりやすいって好評だったわ。



参加者の皆さんとっても熱心に聞いてくれたわ

ユリノキの葉っぱの説明中。私のヘアスタイルと一緒にしよ

2018年度 二人の抱負

2018度もトナーハクでイベントがあるときはどんどん登場するほ!みんな、遊びに来てほー!

登場日が決まったらSNSでお知らせするほ。みんな要チェックだほ!

お客様との触れ合いを通して、これまで以上にトナーハクの魅力を伝えていきたいわ。

2018年度も私たちのさらなる活躍にどうぞご期待ください。



2018年度も、キッズデーなど自主企画イベント開催時に登場します!

上野ミュージアムウィーク -「国際博物館の日」記念事業 2018-

5月18日の国際博物館の日を記念して、5月5日(土・祝)~20日(日)の期間、上野の博物館・美術館など13の施設と商店でさまざまなイベントを開催します。当館では5月18日(金)を総合文化展無料観覧日とするほか、ガイドランス、上野三館園連携事業「上野の山でサルめぐり」(→13ページ)などを開催。公式サイト <http://www.ueno-mw.com/> (4月上旬公開予定)



国際博物館記念ツアー



国際博物館の日記念ガイドランス

納涼東博寄席

日時:7月15日(日) 開演13:30(開場13:00)

会場:平成館大講堂

出演:金原亭馬生・金原亭馬治・金原亭馬玉・

金原亭馬久・柳家小春 ほか

料金:2,000円(全席自由)

*当日は公演のチケットで総合文化展をご観覧いただけます。

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

*月~金曜日の9:30~17:00(祝休日は除く)

*チケットのお求め方法並びにイベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。



上野ウェルカムパスポート

上野地区の文化施設を網羅したスタンブラー付き共通入場券「UENO WELCOME PASSPORT」。上野地区の10施設の平常展・常設展等に期間中各1回入場できます。3,000部限定で特別展付のパスポートも販売します。

販売・利用期間:4月1日(日)~9月30日(日)

販売価格:パスポート2,000円(税込)、特別展付パスポート3,000円(税込)

販売場所:東京国立博物館正門チケット売場、対象の各施設、エキュート上野ほかで販売。



前年のパスポート

東京国立博物館 初夏のコンサート ~研ぎ澄まされた美の世界へと誘う才能あふれるピアニスト~

平成館ラウンジにてピアノのコンサートを行います。今回は日本・メキシコ外交関係130周年を記念してメキシコで活躍するピアニストが出演します。

日時:6月23日(土) 開演15:00(開場14:30) 会場:平成館ラウンジ

出演:アレハンドロ・ペラ(ピアノ)・下山静香(ピアノ)

料金:5,000円 友の会・賛助会割引 4,500円(全席自由)

*当日はコンサートチケットで総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館、サロン・ド・ソネット

協力:K&Associates International

後援:在日メキシコ合衆国大使館

お問合せ:TEL 03-3822-1111(代) 総務課イベント担当

*月~金曜日の9:30~17:00(祝休日は除く)

*チケットのお求め方法並びにイベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

東京国立博物館賛助会のご案内

東京国立博物館では賛助会制度を設け、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実に、幅広くご支援をいただいております。

◎年会費

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効

〈団体〉プレミアム会員 1000万円以上

特別会員 100万円/維持会員 20万円

〈個人〉プレミアム会員 100万円以上

特別会員 20万円/維持会員 5万円

◎主な特典

特別展内覧会へのご招待 など

◎申込方法

当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

お問合せ 電話 03-3822-1111(代) 総務課賛助会担当

東京国立博物館賛助会員 2018年2月28日現在

団体 特別会員 日本電設工業株式会社様 株式会社 コア様 日本印刷株式会社様 株式会社 毎日新聞社様 株式会社 大林組様 朝日新聞社様 株式会社 ホテルオークラエンタープライズ様 株式会社 ミロク情報サービス様 読売新聞東京本社様 三菱商事株式会社様 凸版印刷株式会社様 公益財団法人 東芝国際交流財団様 日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社様 日本ロッテス株式会社様 サロン・ド・ソネット様 TABIZURU FOUNDATION 様 株式会社 みずほ銀行様 一般財団法人 東京国立博物館協会の会 株式会社 東京書芸館様 維持会員 株式会社 三冷社様 株式会社 東京美術様 株式会社 鶴屋吉信様 日本通運株式会社 美術品事業部様 株式会社 安井建築設計事務所様 株式会社 ナガホリ様 松本建設株式会社様 株式会社 古美術数本様 株式会社 謙慎書道会様 近代書道研究所様 日本畜産興業株式会社様 インフォーム株式会社様 学校法人 大勝院学園様 株式会社 システム設計 様 株式会社 インターネットアジアティブ様 株式会社 小西美術工芸社 様 有限会社 キャラリー・竹柳堂 様 株式会社 育伸社 様 株式会社 モリサワ 様 アミ開発有限会社 名古屋支店 様 光村図書出版株式会社 様 株式会社 資生堂 様 株式会社 グラスハウハンズジャパン 様 株式会社 デュナミス 様 キョコマン株式会社 様 公益社団法人 創玄書道会 様 朝陽書道会 様 一般社団法人 書芸文化院 様 株式会社 精養軒 様 株式会社 都市環境企画 様 ANAセールス株式会社 様 株式会社 清光社 様 一般社団法人 学士会 様 公益財団法人 書道芸術院 様 アズビル株式会社 様 セコム株式会社 様 株式会社 ニッセイコム 様 金剛株式会社 様 株式会社 ロイスダール 様 株式会社 岡村製作所 様 株式会社 GICジャパン 様 公益財団法人 アダチ伝統木版画 技術保存財団 様 エクスロン・インターナショナル株式会社 様 正筆会 様 はごろもアース株式会社 様 有限会社 くんかんパニー 様 株式会社 目の眼様 株式会社 前田酒店 様

個人 プレミアム会員 岩間良孝様 特別会員 永久幸範様 辻永二様 谷川紀彦様 佐久間基晴様 井田悦郎様 大山孝良様 田中三伊様 田中御津子様 維持会員 伊藤信彦様 藪内匠人様 服部悦子様 若沢美穂様 高田朝子様 齋藤京子様 齋藤邦裕様 和田美喜子様 藤原紀男様 中川俊光様 関谷徳衛様 高橋守様 小澤桂一様 上久保のり子様 榎田良豊様 長谷川英樹様 池田孝一様 木村剛様 観世あすか様 星望由尚様 渡辺章様 稲垣哲行様 飯岡雄一様 高瀬正樹様 寺浦信之様 高木美華子様 吉原知良様 古屋光夫様 根田穂美子様 池嶋洋次様 是常博様 高田朝子様 齋藤京子様 山田泰子様 和田美喜子様 網村安代様 白井生三様 津久井秀郎様 杉田純一様 神通豊様 神通豊一様 石川公子様 西岡実香様 西岡康宏様 友景紀子様 東野治之様 竹下佳宏様 松原聡様 野澤智子様 坂田浩一様 池谷正夫様 木谷馴一郎様 渡久地ツル子様 汐崎浩正様 飯田敬子様 平井千恵子様 高橋久美様 中山望也様 中西純様 三井速雄様 飯詰貴司様 吉田靖様 松本雅彦様 篠田喜弘様 伊藤喜雄様 井上雄吉様 細川要子様 錦崎伸一様 鈴木幸一様 秋元文子様 土師昭三様 鏡賢子様 野口圭也様 渡邊雪絵様 佐藤禎一様 田中榮二様 山口隆司様 原一之様 会田健一様 相良多恵子様 鈴木徹様 今美幸様 楠富久美様 櫻井恵様 加藤孝明様 伊佐健二様 軽部由香様 木越純様 井上保様 田中信様 岡崎子様 古川晴紀様 新聞日出夫様 岩本光雄様 山本隆幸様 山上知子様 名取幸二様 増淵信義様 要英範様 安田格様 榎本享世様 岡田良雄様 師田和加子様 加納隼人様 林和人様 清水透子様 廣田穠様 杉山恭規様 佐藤芙蓉様 高橋明子様 小塚泰博様 星八郎様 星弘道様 水永義久様 田浦宏己様 山中翠谷様 荒木章様 関口大志様 柳村衛様 樺澤剛志様 小日向志乃様 松前達郎様 佐藤貴士様 横田隆義様 新保幸男様 中野俊介様 井出宗則様 土屋和彦様 碓田榮一様 加納隼人様 林和人様 清水透子様 野本陽代様 福田倫子様 佐藤芙蓉様 青山慶示様 谷内英一様 樋口願一様 吉永喜代子様 長原鈴子様 竹崎益子様 富山仁美様 高山真行様 渡辺婦美様 三浦基広様 本吉丈夫様 重田綾子様 五嶋滋之様 笹川統様 柴啓介様 岩佐恵子様 向山裕子様 上島啓輔様 長瀬正行様 前田寿子様 笠原勲様 宮下雅博様 西村裕紀子様 田村正様 昆政彦様 高橋薫様 清田志郎様 佐野淑子様 中村光宏様 菅野良子様 中島米治郎様 田中久丸様 神田靖男様 森本晃生様 森本博光様 清水真里様 角田正様 三浦基広様 金光真佐一様 田辺修一様 水野和良様 竹内明世様 平田恭之様 武井伸之様 羽石史生様 長瀬正行様 前田寿子様 笠原勲様 高木結司様 田中三伊様 脇一朗様 廣瀬敏章様 北田俊也様 高見康雄様 山神安司様 長井真理様 瀧本篤様 秋元幸雄様 森本文子様 鈴木健之様 野田和子様 南佳梁子様 水田涉子様 吉原剛一様 伊藤隆様 周原寛幸様 山見勝彦様 庄司浩様 三宮信秀様 大貫健司様 中井健二様 石井延隆様 佐々木裕明様 鶴谷舞様 前田清朗様 横田泰三様 和田文彦様 北山卓様 荒井淳子様 福井一夫様 石田勝世様 大原延志様 小田周平様 田島ヨシ江様 沼尻昭様 小森義記様 那須野さや佳様 本原順子様 佐藤はるみ様 面田大介様 曾根史恵様 中村将也様 黒田賢一様 浪崎俊充様 垣崎豊様 茅野俊祥様 前田祥吾様 佐野謙三様 大類泰郎様 大久保優一様 若井順一様 榎原陽子様 石井利行様 青木香織様 安諾茉莉子様 伊藤翔司様 内田一博様 梓澤島広様 山崎益男様 田中久仁恵様 林大和様 山脇啓様 和田佳奈子様 荻野美穂様 長谷部理恵様 ほか167名、2社、 順不同 堀内洋志様



世界の視点で 日本美術を語る



撮影：樽見星雨

去る1月12日・13日に当館にて国際シンポジウム「ミュージアムにおける日本美術の再発見」が開催されました。「フジヤマ、ゲイシャ、ハラキリ」といった紋切り型の日本イメージを克服し、観衆にどのように日本美術の魅力を伝えるかについて、熱い議論が交わされました。日清・日露の戦争画に焦点を当てた展覧会、「ファン文化」をキーワードに現代のポップカルチャーと伝統文化とを結びつける試みなど、海外のミュージアムで行われている斬新な試みにちょっとびっくり。日本のミュージアム担当者にとっても、刺激と収穫の多い二日間でした。
(今井敦)

特別展「縄文-1万年の美の鼓動」チケットプレゼント

特別展「縄文-1万年の美の鼓動」(7月3日(火)～9月2日(日)→2ページ)の無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は6月10日(日)必着。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース4-5月号」プレゼント係



「MUSEUM」672号(2018年2月15日発行)の掲載論文

- ①「東京国立博物館所蔵『調度手本』の成立事情—『西笑和尚文案』を手掛かりに—」 浜野真由美(大阪大学大学院)
 - ②「『報告』東京国立博物館所蔵ブラウフミー文字木簡調査報告」 荻原裕敏(京都大学特定准教授)
慶昭蓉(京都大学・日本学術振興会外国人特別研究員)
 - ③「東京国立博物館所蔵クチャ・カローシュティー文字木簡について」 慶昭蓉(京都大学・日本学術振興会外国人特別研究員)
(荻原裕敏訳(京都大学特定准教授))
 - ④「『研究ノート』狩野探幽と永井信齋尚政一御用絵師と大名茶人の交友—」 小野真由美(東京文化財研究所主任研究員)
- お問合せ：当館ミュージアムショップまたは
中央公論事業出版(TEL:03-5244-5723)
定価：1,543円(税込)



TNM & TOPPANミュージアムシアター

VR作品『風神雷神図のウラ ー夏草図に秘めた想いー』～4月22日(日)

VR作品『伊能忠敬の日本図』4月25日(水)～7月1日(日)

江戸時代、56歳から17年かけて日本全国を測量し、初めて実測による日本図を完成させた伊能忠敬。彼は正確に距離を測るため、常に同じ歩幅で歩く訓練をしていたといひます。その結果できあがった地図は、現在の衛星写真にも引けを取らないほど精緻なものです。その特徴から実際の測量方法まで、伊能忠敬の日本図に込められた謎をバーチャルリアリティで解き明かします。

料金：一般・大学生・高校生500円、小学生・中学生300円

- *未就学児、障がい者とその介護者1名は無料(1作品/1回あたり)
- *総合文化展とセット購入で一般1,000円/大学生800円
- *所要時間は約35分です。鑑賞には当日の予約が必要です。
- *演目・スケジュールは都合により変更になる場合があります。
- *詳細はウェブサイトをご覧ください。 URL <http://www.toppa-vr.jp/mt/>

東京国立博物館利用案内

開館時間：

9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)

- 金・土曜日は21:00まで
- 4～9月までの日曜日・祝・休日は18:00まで
- 9月21日(金)・22日(土)は22:00まで
- 10月31日(水)、11月1日(木)は21:00まで
- いずれの場合も黒田記念館は17:00まで

休館日：

月曜日(祝・休日に当たる場合は開館、翌平日休館)
年末年始(12月26日(水)～2019年1月1日(火・祝))

- 3月26日(月)、4月2日(月)、5月1日(火)、8月13日(月)、12月25日(火)、2019年3月25日(月)は開館
- 6月12日(火)は臨時休館

*特別展等の開催に伴い、開館時間及び休館日は変更になることがあります。

総合文化展観覧料金：

一般＝620(520)円 大学生＝410(310)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
- 国際博物館の日(5月18日(金))、敬老の日(9月17日(月・祝))、トーチ感謝デー(12月23日(日・祝)～25日(火))は、総合文化展は観覧無料

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで！
東京国立博物館ウェブサイト
<http://www.tnm.jp/>

東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効
年会費 8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚配布、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等様々な特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効
年会費 一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚配布します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効
年会費 一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読
年会費 1,000円(6冊分)

【特典】年6回東京国立博物館ニュースをご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申し込みで100円割引。

*次号よりご送付希望の場合、締切は5月10日(木)です。

〇申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申し込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名：東京国立博物館会員制度

口座番号：00140-3-791791

- 振込用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。
- 振替手数料はお客様負担となります。
- ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで2週間程度かかります。

*一度収められた料金の払い戻しはいたしません。

*各種イベントのお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

〇お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 総務課会員制度担当

*月曜～金曜日の9:30～17:00(土日・祝休日は除く)

FAX 03-3821-9680

Table with 2 columns: Date (1-30) and Event details. Includes events like '春の庭園開放', '博物館でお花見を', '特別開館', '夜間開館', '時間延長', and '休館日'.

Table with 2 columns: Date (1-31) and Event details. Includes events like '時間延長', '夜間開館', '時間延長', '休館日', '国際博物館の日', and '書体験'.

【名作】=特別展「名作誕生一つつながる日本美術」関連事業。申込みは締め切りました
★=「博物館でお花見を」関連事業(→4ページ) *1=有料イベント。詳細は前号12ページ
*2=有料イベント。詳細は前号14ページ *3=事前申込制。詳細は13ページ

月例講演会等、詳細は本誌12ページ
G=ギャラリートーク、詳細は本誌12ページ
W=ワークショップ、詳細は本誌13ページ
託児サービス実施日(12:30~15:30) 事前予約制 有料
ボランティアによるアートスタジオ、事前申込制(※4・5月は休止)
ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所:本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、参加費500円、各回先着15名)

ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館エントランス(9:30から集合場所で整理券配布、先着18名)
ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館エントランス
ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる近代の美術ガイド、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる刀剣・武士の装いツアー、集合場所:本館エントランス
ボランティアによる東洋館ツアー、集合場所:東洋館1階エントランス(4月は「仙像の旅」、5月は「東洋館ハイライト」をご案内します)
ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館エントランス
藝大大学院インターンによるギャラリートーク、(※4・5月は休止)
※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります